



# 糸 図書館ボランティアだより 第15号

2013年 2月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会発行



## 目次

自由＊空間	「私の望むボランティア」「資料のデジタル化について」	・・・ P 2
ご存知ですか	「エコライフ!!」	・・・ P 2
私のおすすめ	『徳川家康』『心を整える』	・・・ P 3
	『たくさんのふしぎ 桜島の赤い火』	・・・ P 3
図書館からのお知らせ		・・・ P 4

## 2012 東北の桜 温泉 被災地

もうすぐ桜の開花宣言が報道される時期になってきましたが皆さんどこに行こうか、いろいろ検討されていることと思います。ちょっとだけでも参考にさせていただけたらと思い、昨年東北地方に車で桜見物に行ってきましたので、紀行文的にまとめてみました・・・。

2012年4月27日午後自宅を出発しました。富山市で宿泊し2日目は秋田県の横手温泉泊。高速、一般道を織り交ぜ夕方には到着しました。阪南市からの距離は約950kmでした。3日目は本命の角館に入り、武家屋敷通りのしだれ桜見物です。満開の木もありましたが8分咲き位でした。観光客も多くて駐車場を心配していましたが、朝が早かったので近くに停めることができました。有名ところは朝早くが一番です。その日の宿泊は近くの田沢湖高原温泉で、白濁の源泉かけ流しの気持ちの良いお湯と残雪の秋田駒ヶ岳の山麓近くのホテルでした。4日目は弘前城の桜です。城全体が100%満開で感動しました。特に城と桜と雪の岩木山を望む風景は関西では味わえない景色でした。その日の宿泊はトンボ返りで岩手県の網張温泉なので東北道を利用しました。この温泉も白濁の硫黄泉でかけ流しで、良いお湯を堪能出来ました。5日目は盛岡の石割桜、裁判所の中にある大きな岩の割れ目から360年も人々の目を楽しませている、国の天然記念物です。満開を少し過ぎていました。その後、北上展勝地に向かいましたが大渋滞で駐車場にはたどり着けず北上川を横断する渡し船で入りました。満開を過ぎていましたが桜吹雪とピンクのジュウタンは圧巻でした。その日の宿舎は仙台の多賀城市のホテルですので、ルートを三陸海岸に取り震災の被災地を回ってきました。復興の手助け等はできないのでせめて観光でお金を使って活性化していただけたらとの思いで・・・。高田松原の一本松と南三陸町の志津川地区を回りました。被災後1年を過ぎているのに、360度視野に入る風景はショッキングでした。震災当時のテレビ報道が目につかんで志津川の防災庁舎前で鎮魂の祈りを捧げました。6日目は三春の滝桜に行きましたが、すでに葉桜で終わっていました。桜を見て回る順番は難しいものです。あちら立てればこちらはあきらめですね。その日は栃木県的那珂川温泉です。トロトロのアルカリ単純泉です。7日目は神奈川の海老名に泊り、開通した新東名を走り自宅に帰ってきました。全走行距離は2700kmでした。

大和田 裕一



## 私の望むボランティア

子どもの頃から読書が大好きでした。昭和二十年代の小学校の図書館には少しの本しかありませんでした。世界文学全集で小公女・若草物語・宝島など夢中で読みました。今の図書館の児童書の多さには驚きます。平成の子どもたちは恵まれているとつくづく思います。そして平成の高齢者もまた恵まれています。新聞・雑誌や、本好きの友人からの情報でリクエストしたら、図書館に無い本でも他市の図書館から借りてくれて、入ったらメールで連絡をしてくれます。新刊も読めるのでありがたいです。あと何年生きられるかわかりませんが、読みたい本が沢山ありとても読み切れません。せめてものお礼に、返却された本を定位置に戻すボランティアを、五年ほど前からさせていただいています。今は元気で、ボランティアの帰りに読みたい本を借りてきますが、そのうちに図書館に行けなくなるでしょう。そんなとき、図書館の本がボランティアの人の手で届いたら、どんなにありがたいことでしょう。私は元気な今、そんなお世話することを出来たらと思っています。それともうひとつ、館内に緑がもう少しあればと思っています。植物の好きな人たちでお世話していただけたらなと思っています。

岡本 治美

## 資料のデジタル化について

図書館を訪ねる上で利用者の想いは様々ですが、探している本に出会う時利用者の想いは満たされず。情報センターとしての図書館における一つの機能は、資料の保存であると思います。グーテンベルクの印刷術によって、我々は紙を媒体にして情報を伝達する技術を得ました。文章を参考にする活字による文化は、深く我々の生活に関連してきてくるように思います。紙という形態の資料の弱点は、何時破れるか分らない事。雨で濡れてもぐしゃぐしゃになる。新しい形の資料であるCDやDVDという電子資料は、より保存に強い資料としてネット通販のアマゾンから販売されている、タブレットのKindルファイアーと併せて今後注目されるのではないかと思います。

高橋 勇



自由 \* 空間



タブレット  
電子書籍

Kindle Fire HD  
amazon

## 《ご存知ですか》

## エコライフ !!

お料理の好きな方で、得意な自慢のメニューは？ 材料の良い物、お金を掛けるとおいしい！と思われるのは一般的ですが、最近そうそう食べる物に沢山お金を使えないのが実情。そこで考える主婦は、手工を絞り、時間を節約し、意外な物を使って、ゴージャスなお料理を作って楽しんでいる。ミニコミ誌にも10行クッキングとかで、エーッそうなの！というお手軽レシピが載っています。あなたも、味覚とセンスをフルに発揮して驚きのごちそうを楽しんで作り、家族を喜ばせ、節約出来たお金はヘソクリに、余った時間は自分の楽しみにしてはいかが・・・。

門脇 容子

今から四十年位前に徳川家康二六巻を完読しました。かなり昔のことなので内容についてはほとんど覚えていません。図書館で再度出会って、もう一度読んでみようと思いましたが、そして一年前に再挑戦することとなり、一ヶ月に二冊のスピードで約一年、現在二四巻まで読み終わりました。NHKの大河ドラマで織田信長、豊臣秀吉、徳川家康などが放映されているので、読み進んでいくと、色々の場面でリンクすることが度々ありました。この戦乱の時代に各々違った性格の織田、豊臣、徳川が同時代に生き活躍し存在したことが、のちのち泰平の時代が実現し、戦国時代の終焉につながったと思います。

この本を読んで強く感じたことは、封建時代が長く続き、男尊女卑が強烈で女性は品物の様に扱われ、本人の意思はまったく考えられず政略結婚をさせられ、お家の栄耀栄華を得るために犠牲を強いられました。一方男性は主君や家名のためには絶対服従で、命を落とすことが名譽とされ、人命軽視でした。徳川家康の側近には、主君のためなら自分の命に換えても主君を守り抜く家臣が多く存在しました。たぶん徳川家康は家臣思いでもあり、器としても偉大で魅力ある人物であったのだろうと想像しながら読み進んでいます。

入江 好子

## 私のおおすめ

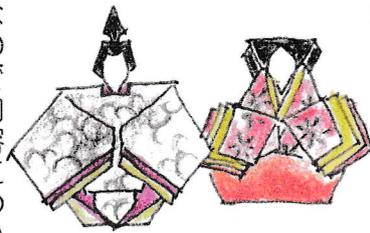
皆さんは「長谷部 誠」という人物をご存知でしょうか。彼はサッカーワールドカップでゲームキャプテンとして四試合すべてに先発出場し、アジアカップでもキャプテンとして優勝に貢献した現在二十九歳の青年です。日本代表として選ばれ、様々な年齢の中で若干二十五歳位でキャプテンになり、どのようにチームをまとめていったのか、どのように自分を高めていったのか、どのように日本中の注目をエネルギーに変えていったのか、興味深いことがたくさん書かれています。

信頼を得るために必要なこと、絆を深めること、私たちも日常の中で実践できる事やヒント等、若い世代からも教えられる事が数多くありました。

「お酒のチカラを利用しない。」 「正論を振りかざさない。」

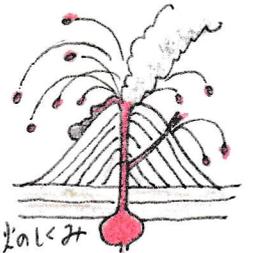
心のレシピ本のように素敵に一冊でした。

漆谷 真澄



## 『たくさんのふしぎ 桜島の赤い火』

2013年1月号 宮武 健仁 / 著・写真 福音館書店 K453



中学生の時に会った赤い火の写真絵はがきが縁で桜島へ赤い火を見に行くことに決めた作者。

2009年夏から2010年にかけて撮影した桜島の写真で構成されています。色々な場所から写された写真の中で、噴火と一緒に起こる火山雷の写真は迫力があります。又桜島に暮らす人々の火山と共存する生活も紹介されています。なるほどと思う事が多い絵本でした。

當本 康江



- 3 -



図書館でボランティアしませんか？

～平成25年度～

# 図書館フレンズ募集

老後・退職後に何か社会の役に立ちたいと思っている方、もう子どもの手も離れて、時間があるから何かしたいという方、学生時代にボランティアをした方、図書館フレンズとして活動してみませんか？はじめての方も大歓迎。誰でもできる簡単な作業から、才能を生かせる作業までいろいろあります。

主な作業は、返却本を書棚・書庫に戻す作業、本の修理・清拭・装備、児童コーナーのコルクボードへの装飾作成、リサイクル関連、広報関連等です。詳しい作業内容や時間は、「図書館フレンズ作業内容」のチラシでご覧下さい。下記の説明会で詳しく紹介した後、登録していただきますので、興味をもたれた方は、説明会への参加申し込みをしてください。

説明会日時：3月25日(月) 10:30～11:30

場 所：サラダホール2階・視聴覚室

申込期間：3月1日(金)～3月24日(日) 開館時間中 (電話申込可)

- \* 無償のボランティアです。交通費等の支給はありません。
- \* ボランティア保険加入予定です。
- \* この説明会は、新規の方(阪南市に在住・在勤・在学の方)が対象です。
- \* 図書館フレンズには、この募集期間以外にも随時加入できます。思い立った時にお声をかけてください。個別にご説明いたします。

お問い合わせは

阪南市立図書館

電話072-471-9000

図書館フレンズ担当まで

## 平成24年度 本のリサイクル報告

24年度に3回の本のリサイクルを行ないました。千人弱の入場者があり、8086冊の本や雑誌が皆様のもとで第二の人生を歩む事になりました。詳細は下記のとおりです。2月の本と雑誌のリサイクルでは、試行として1時以降再入場を可能にし、冊数制限もなくなりました。アンケートでも肯定的なご意見が多かったので、次回も試行で継続いたします。

【6月24日(日)】入場279名・1901冊／2団体・91冊／合計1992冊

【11月4日(日)】入場272名／1605冊／合計1605冊

【2月1日・2日(金・土)】1日は団体向けリサイクル。入場16団体／678冊

2日 入場404名(うち再入場者35名)／3811冊／合計4489冊

【24年度 総合計】入場955名・7317冊／18団体・769冊／総合計8086冊